チェックリスト

投函する前に，投稿原稿が以下の事項に適合しているかどうか確認（□をクリックしてチェック）し，このチェックリストも原稿といっしょに提出してください．

**本　文**

[ ]  原稿の本文に，著者名や著者の所属を書いていない．［著者名を伏して査読するために］

[ ]  本文中に，「拙著によると……」「筆者は以前……について論じた（田中 2002）」など，著者が直ちにわかるような表記をしていない．（→ たとえば，「田中は以前……につい論じた（田中2002）」のように書く．）［著者名を伏して査読するために］

[ ]  引用文献や注が，執筆要領に従って示されており，脚注は用いていない．

**文　献**

[ ]  文献の表記が，以下の形式になっている（"\_" は半角のスペース）．

(1) 和文の論文

著者名\_年：「論文名」『雑誌名』巻(号)，始頁-終頁．

(2) 和文の図書

著者名\_年：『書名』出版社．

(3) 和文の図書（欧文の邦訳書）

著者名\_年：邦訳者名『邦訳書名』出版社；原著者名\_*原書書名[ｲﾀﾘｯｸ]*,\_原書出版社,\_原書出版年.

(4) 欧文の論文

著者名\_年:\_"論文タイトル,"\_*雑誌名[ｲﾀﾘｯｸ]*,\_巻(号),\_始頁-終頁.

(5) 欧文の図書

著者名\_年:\_*書名[ｲﾀﾘｯｸ]*,\_出版社.

(6) 欧文の図書（邦訳あり）

著者名\_年:\_*書名[ｲﾀﾘｯｸ]*,\_出版社；邦訳者名『邦訳書名』出版社，年．

(7) インターネットからの資料
　報告書，論文等については、(1)～(6)の最後にURLと閲覧日を記載．
　それ以外の場合は，著者名\_年：「記事タイトル」, URL（閲覧日）を記載．

[ ]  執筆のときに邦訳書を用いた（本文中で邦訳書のページをあげている）ときは，上記(3)の形式で文献を挙げる．執筆のときに原書を用いた（本文中で原書のページを挙げている）が邦訳もあるときは，上記(6)の形式で文献を挙げる．

[ ]  終頁の数値のうち，始頁の数値と同じ上位の桁は，それを省略する．

例1: × 723-728

 ○ 723-8

例2: × 723-741

 ○ 723-41

[ ]  著者が複数の時は，次のように書く．

和文の場合: 丸山剛司，井村裕夫

欧文の場合: Beck,\_U.,\_Weinberg,\_A.\_and\_Wynne,\_B.

[ ] 　著者名（原著者名）を欧文で記すとき，Last nameはフルネームで記載し, first name はイニシャルのみとする．ただし，同名の著者が複数登場して混乱するときは，first name をフルネームで記載する（それでも区別がつかないときは，middle name も書く）．

[ ] 　欧文雑誌などの文献を示すときは，他分野の研究者でも容易にその文献がわかるように，分野固有の略記は避ける．（たとえば，*H. S. P. B. S.*ではなく，*Historical Studies in the Physical and Biological Sciences* と表記する．ただし，あまりにも煩雑になるようであれば，初出箇所ではフルに表記し，2回目以降は略記を用いてもよい）．

[ ] 　 本誌（『科学技術社会論研究』）に掲載された論文を挙げるときは，単に "本誌 第1号"などとせず，『科学技術社会論研究』第1号 のように表記する．

**表　紙**

[ ]  和文表題，英文表題，英語キーワード，英文抄録を記した表紙を，本文の前に付す．（投稿の種類によっては，2枚目に和文表題，和文要旨を記す）．

[ ]  表紙に，著者名や著者の所属を記載していない．

[ ]  （投稿の種類が，総説，原著，短報の場合のみ）400字程度の和文要旨，200 語以内の英文抄録と5個以内の英語キーワードをつけている．

[ ]  一つのキーワードは，概ね3語以内にとどめ，各キーワードの最初のみ大文字にする（たとえば Developing countries）．

**投稿票**

[ ]  執筆者全員の氏名・所属・職名・連絡先が，和文と英文の両方が記入してある．（執筆者名のローマ字表記は，姓名，名姓，どちらの順でもよい．ただし複数の執筆者がいるときは全員について同じ順にする．）

**送付の前に**

[ ]  原稿と投稿票，このチェックリストを，電子メール添付にて事務局宛に送付する．